

「プラスチック資源循環促進法」の対象 12 品目に対応した

## 2023 年度 プラスチック使用量の削減計画

帝国ホテルは、2022 年 4 月より施行された「プラスチック資源循環促進法」に則り、直営 4 事業所（東京・大阪・上高地・柏）において、剃刀、歯ブラシ、ヘアブラシなどの客室アメニティを竹製・木製に切り換えています。また、シャワーキャップや衣類用カバーなどには植物由来の製品を採用するなど、対象 12 品目におけるプラスチック使用量削減を順次進め、年間で約 11 トン（約 70.2%、対 2019 年度比）の削減の計画を達成しました。

2022 年度計画 削減量 11.1t（削減率▲70.2%）

2022 年度実績 // 11.2t（削減率▲70.9%）

2023 年度の削減目標率は 85.1%と据え、すべて切り替えが完了する 2024 年度は当初の計画通り 2019 年度比▲87.5%を見込みます。

### 【対象 12 品目のプラスチック使用量削減効果見込み】

品目	材質	2019年度 使用量 (kg)	2022年度 使用量 (kg)	2022年度 削減率 実績	2023年度 使用量予測 (kg)	2023年度 削減率 目標
1歯ブラシ (1)	代替素材(竹製)	4,384	780	82.2%	500	88.6%
2ヘアブラシ (2)	代替素材(木製)	5,418	1,095	79.8%	0	100.0%
3カミソリ (3)	代替素材(竹製)	1,965	952	51.6%	500	74.6%
4シャワー キャップ	代替素材(バイオマス素材)	429	271	36.8%	200	53.4%
5ヘアコーム	提供廃止	1,558	213	86.3%	200	87.2%
6~フォーク、ナイフ、ス プーン (4)	代替素材(植物由来プラスチック)	390	16	95.9%	0	100.0%
9ハンガー	代替素材(植物由来プラスチック)	821	591	28.0%	350	57.4%
10衣類用カバー	代替素材(植物由来プラスチック)	740	670	9.5%	600	18.9%
11マドラー	繰り返し使用	30	0	100.0%	0	100.0%
12ストロー	代替素材(紙製)	55	0	100.0%	0	100.0%
合計		15,790	4,588	70.9%	2,350	85.1%

